

## 令和5年度第2回内灘町男女共同参画推進委員会

- 【日 時】 令和6年3月19日（火）15：00～17：20  
【場 所】 内灘町役場 3階 301・302会議室  
【出席委員】 花輪委員、葛城委員、山崎委員、岡野委員、源代委員、春田委員（6名）  
【事務局】 文化スポーツ課男女共同参画室 中村室長  
文化スポーツ課 今井課長補佐

### 会 議 内 容（要 旨）

#### 1 挨拶

委員長 花輪 由樹

#### 2 議件

##### （1）令和5年度事業報告について

- ① 石川中央広域圏男女共同参画推進協議会事業  
会議資料 p. 2-3 に基づき事務局より説明した。

##### <主な意見>

- ・SNS での周知が主だったことが要因として考えられるが、60代以降の参加者が少ない。「私らしさ」や「多様性」という言葉は、若い世代の方が目にするには多いと思うが、高齢の方にこそ知っていただきたいテーマだと感じる。60代以降の方に認知してもらうのが今後の課題である。
- ・参加者へ講演会の内容が分かる資料を用意した方がいい。QRコードを読み込んで資料を確認することができればペーパーレスにもなる。

##### ② ふらっとミニセミナー

会議資料 p. 4-5 に基づき事務局より説明した。

##### <主な意見>

- ・申し込みの時点で参加者の年齢層を把握できれば、講師の先生も内容をどのようにするか参考にできる。
- ・被災された方で転居されている方も多いため、対面開催とオンライン開催のハイブリッド型にしてほしい。
- ・先生から教わる講義形式ではなく、先生と参加者の対談形式で実施するのはどうか。
- ・他の行事と同時開催をしたらどうか。

③ いしかわパープルリボンキャンペーン2022  
会議資料 p.6 に基づき事務局より説明した。

<主な意見>

- ・性別問わず啓発を呼びかけて欲しい。
- ・ブースの横に相談コーナーを設ければ相談者も話がしやすいと思う。
- ・内灘中学校や内灘高校とコラボして、DV について考える講義をする等、予防教育に力を入れていくのが望ましい。
- ・「DV をなくすためにはどのようなことができるか」という内容で講師の先生と参加者が協議しあうシンポジウムを開催するのも一つの方法である。QR コードで相談窓口の案内があれば相談しやすいと考える。

④ 男女共同参画室、働く女性の家共催事業  
会議資料 p.7 に基づき事務局より説明した。

<主な意見>

- ・今年度は女性のみでの参加であったため、「男性の方も参加いただけます。」というようなフレーズが募集チラシ等で必要なのではないかと思う。
- ・骨盤や体幹のストレッチをすることでどのようなメリットがあるのか、どのような体操をするのかという具体的な内容が分かる情報を盛り込むと男性の参加者も増えるのではないか。
- ・オンライン開催も検討してほしい。
- ・広報に開催報告記事を掲載し、効果的な体操の仕方など講座の内容を紹介すれば、今回参加できなかった人でも次回は参加しようとなると思う。

⑤ 内灘町女性協議会、男女共同参画室共催事業  
会議資料 p.8-9 に基づき事務局より説明した。

<主な意見>

- ・オンライン配信や参加できなかった人向けのアーカイブ配信があれば、より多くの人に見ていただけると思う。
- ・広報の開催報告記事で、内容や防災グッズの紹介があれば、次回参加したいと思う人が増えると思う。

⑥ 男女共同参画推進委員会  
会議資料 p9 に基づき事務局より説明した。

### 3 その他

- (1) 令和6年度石川中央広域圏男女共同参画推進協議会事業について  
次年度の開催テーマについて、意見交換をした。

### 4 閉会